

## 令和3年度 第5学年 授業改善推進プラン

	授業改善のねらい	具体的な授業改善策	評価 (○成果 ▲課題)
国 語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○物語文や説明的文章の要旨について叙述を基に捉えられるようにする。</li> <li>○漢字や言葉の特徴やきまりを正しく理解させる。</li> <li>○自分の考えを話す、友達の考えを聞く活動（対話的な学習）を重視する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面読みや全体読みなど、単元に応じて読ませ、話の中心を捉えられるようにする。</li> <li>・物語の登場人物の気持ちや、文章の要約を自分なりに表現させる。</li> <li>・既習の内容の漢字や言葉を授業の中で繰り返し用いて、ふだんから活用する。</li> <li>・話の構成を考え、自分の考えが伝わるように表現メモを作る活動を毎学期取り入れ、表現を工夫させる。また、話し手だけでなく、聞き手の聞く力を高めるために、スピーチメモを取る機会を設ける。</li> </ul>	
社 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料等から自分で解決したい課題を見いださせる。</li> <li>○自分の課題に応じた適切な資料を収集し、そこから必要な情報を読み取ることができるようにする。</li> <li>○見方・考え方を働かせながら、社会的事象について解決する力や、選択・判断する力を伸ばしていけるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を基に、自分で課題を決め、主体的に解決したくなるように、資料や事象を工夫する。</li> <li>・ICT 機器を用いて資料集めを行わせる。また、その資料から特徴や考察をノートやワークシートに書く指導を繰り返し行う。</li> <li>・資料の比較・分類など様々な追究の方法を示しながら、社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えることができるようにする。</li> </ul>	
算 数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎基本となる学習理解の定着を図る。</li> <li>○課題に対する自分の考えをもたせる。</li> <li>○学習の必要感をもたせ、学びを生活に生かせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3展開の習熟度別指導で児童の実態に合った指導を行う。</li> <li>・課題把握、自力解決、まとめ・振り返り等の指導の流れを一貫して行い、自分の考えをもたせ、発表できる場面を作る。</li> <li>・解を求めるときは、様々なアプローチを出させ、問題を解決するには、どの方法が最も良いのかも考えさせる。</li> </ul>	

<p>理科</p>	<p>○教師による事象提示から、解決したい問題を見だし、それを解決するための解決方法を立案させる。</p> <p>○粘り強く問題解決できるようにさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「なぜ」「どうしてだろう」と思わせるような事象提示を考え、児童にとって必要感のある学習展開をする。</li> <li>・自分たちが予想したことと違ったときは、なぜ違ったのかを実験方法(条件を含む)に立ち返らせ、実証性・客観性のある実験結果を求められるようにする。</li> </ul>	
<p>体育</p>	<p>○友達と学び合う学習活動を取り入れる。</p> <p>○自己に応じた課題をもち、運動への意欲を高めるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の技能を客観的に見られるように、ICT 機器を活用する。</li> <li>・学習カードを活用し、自分や友達の頑張りを認め合えるようにする。</li> <li>・1 時間ごとに自分のめあてを考えさせ、それを振り返らせることで毎時間個々の伸び(成長)を味わわせていく。</li> </ul>	